



心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより R5.1.12 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

岡村小学校で検索

祖母とおまけ

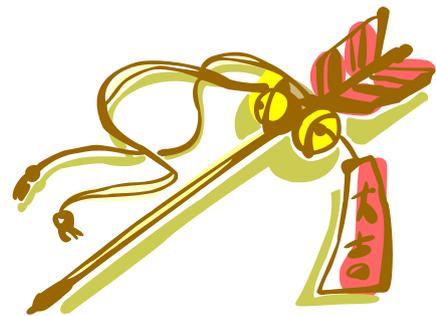
校長 川村 真弘

初春の令月にして、気淑く風和ぐ。梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫すと、万葉集が謡う景色に令和5年の新春を重ね、「令和」の語源を詠む。



皆様と一緒に正月の風情を味わい、岡村公園から望む霊峰富士に今年の健やかな毎日を祈る。美しく神々しい富士山を望むこの景色はさすがに磯子区地域福祉保健計画に「都会空間の中の憩いの場」と紹介されていることが頷ける。こうして、厳かな気持ちで新年が始まり、子どもたちの令和5年の成長を祈り、皆様のご多幸を祈る。

私の幼かった頃の正月は父が国鉄職員であったことから勤務の割り当てでは家族全員が揃うとは限らず、家族水入らずの正月も記憶にあるが、母方の祖母の家で過ごした時間もはっきり記憶している。当時、流行っていたチョコ菓子にはキャップ部分におまけがついていた。祖母にそのチョコ菓子を買ってもらい、私はそのおまけで遊ぶことが大好きだった。祖母といっしょに居る安心感も幸福感もあったのだろうが、いつ思い出しても、その景色はおとぎ話の様に淡く、あたたかく、優しいイメージに包まれる。祖母とおまけ。楽しく、懐かしく、僕には幸せの思い出だ。



1月10日は学校の誕生日。11日に60歳誕生日を子どもたちとお祝いしました。校長室に掲げられている「開校宣言」には昭和38年1月10日、当地域の発展に即応し、磯子区岡村町687番地に横浜市立岡村小学校を開設すると記されています。令和4年度本校は60歳の還暦を迎えました。地域の皆様に支えられ、歴史を重ね、伝統を築いて参りました。今後とも地域に威風堂々、凜と建てる学校であるよう精進して参ります。

横浜市立岡村小学校教職員一同